

対象病害	処理薬剤	処理方法	注意事項	
種子消毒 (いもち病、 ばか苗病)	テクリード C フロアブル (100 mℓ)	200 倍に希釈した液に 24 時間浸漬する。	種モミ1kgに対して 希釈した薬液量 1.7ℓの 割合で処理する。	① 液温は 10℃以上 (15℃前後が理想)とする。 ② 消毒後は水洗いせず、浸種する。浸種まで日にちが 空く場合、陰干しして風乾させる。 ③ 使用後の薬液は毒性が強いので河川に流したりせ ず、適切な処理をする。
苗床 (苗立枯病)	タチガレエース M 粉剤 (1 kg)	育苗箱1箱(±5ℓ) 当り6～8g混和する。	① 薬量が多いと生育に害が出るので適正量で使用する。 ② は種当日の混和を基本とする。事前使用では効果が落ちる場合ある。 ③ リゾープス菌による苗立枯病対策には「ナエファイン粉剤」を使用する。	
苗箱施薬 (害虫、 いもち病)	ブーンパディート箱粒剤 (1 kg)	育苗箱1箱当り 50g	① いもち病が心配ない圃場は「パディート箱粒剤」に代えて使用する。 ② 紋枯病が昨年多発した圃場では「稲大将箱粒剤」を使用する。 ③ 移植当日に使用する場合は、植付け直前に散布する。 散布後長く放置すると薬害が発生するため、早めに植えつける。	

月 日	散布時期	散布薬剤(10a当り使用量)		代替農薬(10a当たり)	注 意 事 項
月 日	特別散布 代かき直後	【省力】 先陣ジャンボ (200g(小包装×10 個)) (植代後～移植7日前)	200g	<雑草イネ対策> エリジャン乳剤 (300 mℓ) (植代後～移植7日前)	① 田植えが代かきから7日以上後となる場合に限り 実施する。 ② 実施した場合、散布後7日間は落水しない。 ③ 代かき直後の水が濁っている時に散布する。
月 日	第1回 田植え 翌日後	センメツZ1キロ粒剤 (1kg)(移植直後～)	1kg	【省力】 センメツZジャンボ (200g)(移植後3日～)  シンズイズフロアブル (500mℓ)(移植後3日～)  【省力】<雑草イネ対策> ダンクショットジャンボSD (200g)(移植後3日～)	① ジャンボ剤は散布前に水深を確保しておく(約 5 cm)。 ② 除草剤散布後3日間は入水しない。 地面が露出してしまう場合は、露出する前に入水する。 ③ 代かきから第1回の除草剤までの日数が開くほど、 雑草発生リスクはあがる。 ④ 薬害回避のため「移植後3日～」となっている剤は使 用時期を間違えないよう注意する。 ⑤ 藻が全体の4割以上発生してしまった場合、モゲトン 粒剤(3 kg)を10a当たり2～3kg散布する。
ガス湧き対策(田植え10日後): 田に入った時泡が発生する場合は、田植え10日後から7日間程干してガス抜きをする。 ガス抜き後に入水したら、雑草の発生を確かめ第2回の防除を実施する。					
月 日	第2回 田植え後 20日頃	レブラスギア 1 キロ粒剤 (1 kg)(移植後 14 日～)	1 kg	【省力】 ツイゲキ豆つぶ 250 (250g)(移植後14日～、 稲5葉期以降)  【省力】 ソニックブームSジャンボ (500g(小包装×20 個)) (移植後14日～ 但し、稲4葉期以降)	① 雑草の発生に応じて実施する。 ② 雑草の初期発生を見逃さないために、田んぼを覗き 込んで確認する。雑草が水面から出る前に早めに実 施する。 ③ ツイゲキ豆つぶ 250 はジャンボ剤の一種です。
月 日	特別散布 中干し期 (落水処理)	【粒タイプ】 バサグラン粒剤 (3 kg)(収穫45日前まで)  【散布タイプ】 クリンチャーバス ME 液剤 (500 mℓ)(収穫50日前まで)	3～4 kg  水 100ℓに 1,000mℓ	【散布タイプ】 ロイヤント乳剤 (水 100ℓに 200 mℓ) (収穫 45 日前まで)	① バサグラン粒剤はヒエには効果がないため注意。 ② ロイヤント乳剤はホタルイとクログワイに対して効果 が期待できないため注意。 ③ 散布後4日間は水を入れない。 ④ 散布後2日間に降雨があると効果が落ちるので、 天候に注意する。 ⑤ 降雨が続く場合は晴れ間を見計らって「ロイヤント乳 剤」を散布する。(散布後2時間は降雨が無い時)
月 日	特別散布 いもち病 出穂 20日前	【省力】 コラトップジャンボP (500g(50g×10 個))	小包装 10～13 個 (500～650g)	ブラシン粉剤 DL (3～4 kg)	① いもち病の穂への感染を抑える目的で実施。 ② 湛水状態で使用する。 ③ 感染を予防するためなので、遅れると効果が薄い。
月 日	特別散布 出穂 7日後	【カメムシ対策】 スタークル豆つぶ (250g)	250g	トレボン粉剤DL (3～4 kg)	① 湛水状態で散布する。 ② 散布後3日間は、有効成分が薄まらないよう入水を 控える。

	農薬名	使用時期	使用量	使用回数	対象病害虫
種子消毒	テクリードCフロアブル	浸種前	200 倍に希釈した液に 24 時間浸漬する	1 回	いもち病、ばか苗病、苗立枯細菌病(リゾーフス菌、トリコデルマ菌) ごま葉枯病、もみ枯細菌病、褐条病
苗床	タチガレエースM粉剤	は種前	育苗箱 1 箱(土 5ℓ)当りに 6～8g 混和する	1 回	苗立枯病(ヒシウム菌、フザリウム菌) ムレ苗防止
	ナエファイン粉剤				苗立枯病(ヒシウム菌、フザリウム菌、リゾーフス菌) ムレ苗防止
苗箱 施薬	ブーンパディート箱粒剤	は種時(覆土前) ～移植当日	育苗箱 1 箱(土壌 5ℓ)当り 50g	1 回	いもち病、イネトロオイムシ、イネミスゾウムシ、〔移植当日:ヒメヒウンカ ニカメイチュウ、ツマグロヨコバイ、フタオビコヤカ、イネヒメハモグリハエ、イネツトムシ〕
	パディート箱粒剤	は種時(覆土前) ～移植当日	育苗箱 1 箱(土壌 5ℓ)当り 50g	1 回	ニカメイチュウ、イネツトムシ、イネトロオイムシ、イネミスゾウムシ、ツマグロヨコバイ、 フタオビコヤカ、〔移植当日:イネハモグリハエ、ヒメヒウンカ〕
	稲大将箱粒剤	は種時(覆土前) ～移植当日	育苗箱 1 箱(土壌 5ℓ)当り 50g	1 回	紋枯病、いもち病、もみ枯細菌病、白葉枯病、 穂枯病(ごま葉枯れ病)、ウンカ類、ニカメイチュウ、ツマグロヨコバイ、イネミス ゾウムシ、イネトロオイムシ、イナゴ類、フタオビコヤカ、イネツトムシ、コブノメイガ

除草剤

	農薬名 (使用時期)	10a 当り使用量	使用方法	使用 回数	適用雑草/病害虫
初 期	<b>先陣ジャンボ</b> (植代後～移植 7 日前 又は移植直後～ ただし、移植後 30 日まで)	200g	湛水水田へ 小包装(パック)のまま 投げ込む	1 回	水田一年生雑草、ホタルイ、ヘラオモダカ、 マツバイ、アオミドロ・藻類による表層はく離
	<b>エリジャン乳剤</b> (植代後～移植 7 日前 又は移植直後～ ただし、移植後 30 日まで)	300 mℓ	原液湛水散布	1 回	水田一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、ウリカワ マツバイ、クログワイ、コウキヤガラ、ヒルムシロ ヘラオモダカ
初 中 期	<b>センメツZ1キロ粒剤</b> (移植時、移植直後～ ただし、移植後 30 日まで)	1 kg	湛水散布 (田植え同時散布機で 移植時に散布可能)	1 回	一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、ミスガヤツリ マツバイ、クログワイ、ヒルムシロ、ヘラオモダカ、ウリカワ アオミドロ・藻類による表層はく離、シズイ、セリ
	<b>シンズイズフロアブル</b> (移植 3 日後～ ただし、移植後 30 日まで)	500 mℓ	原液湛水散布	1 回	一年生雑草及び多年生雑草
	<b>ダンクショットジャンボSD</b> (移植 3 日後～ ただし、移植後 30 日まで)	小包装(パック) 10 個 (200g)	湛水水田へ 小包装(パック)のまま 投げ込む	1 回	一年生雑草、多年生広葉雑草
	<b>センメツZジャンボ</b> (移植 3 日後～ ただし、移植後 30 日まで)	小包装(パック) 10 個 (200g)	湛水水田へ 小包装(パック)のまま 投げ込む	1 回	水田一年生雑草、ホタルイ、マツバイ、オモダカ、 シズイ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ウリカワ、 ヘラオモダカ、クログワイ、ヒルムシロ、セリ
中 後 期	<b>レブラスギア1キロ粒剤</b> (移植後 14 日～ ただし収穫 60 日前まで)	1 kg	湛水散布	1 回	水田一年生雑草、多年生広葉雑草
	<b>ソニックブームSジャンボ</b> (移植後 14 日～ ただし収穫 60 日前まで)	小包装(パック) 20 個 (500g)	湛水水田へ 小包装(パック)のまま 投げ込む	1 回	水田一年生雑草、多年生広葉雑草
	<b>ツイゲキ豆つぶ 250</b> (移植後 14 日(イネ 5 葉期以降)～ ただし収穫 60 日前まで)	250g	湛水散布	1 回	一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、マツバイ、セリ クログワイ、ミスガヤツリ、コウキヤガラ、ヒルムシロ ウリカワ、アオミドロ・藻類による表層はく離
後 期	<b>バサグラン粒剤</b> (移植後 15 日～ ただし収穫 45 日前まで)	3～4 kg	落水散布又は、 ごく浅く湛水して散布	1 回	水田一年生雑草(イネ科を除く) ホタルイ、オモダカ、クログワイ、ミスガヤツリ、シズイ ヘラオモダカ、ウリカワ、マツバイ、エゾノサヤヌカガサ
	<b>クリンチャーバスME液剤</b> (移植後 15 日～ ただし、収穫 50 日前まで)	水 100ℓに 1,000 mℓ	落水散布又は、 ごく浅く湛水して散布	2 回 以内	一年生雑草、ホタルイ、オモダカ、シズイ、セリ クログワイ、ヘラオモダカ、コウキヤガラ、ウリカワ キシウスズメヒエ
	<b>ロイヤント乳剤</b> (移植後 20 日～ ただし、収穫 45 日前まで)	水 100ℓに 200 mℓ	落水散布又は、 ごく浅く湛水して散布	2 回 以内	一年生広葉雑草、 アセガヤ、マツバイ、ウリカワ、セリ
藻 類	<b>モゲトン粒剤</b> (ウキクサ類、藻類の発生始～発生盛期 ただし、収穫 45 日前まで)	2～3 kg	湛水散布	2 剤合 せて 3 回 以内	2～3 kg: 藻類(アオミドロ、アミミドロ)、ウキクサ類 3～4 kg: ヒルムシロ、ウリカワ
	<b>モゲトンジャンボ</b> (ウキクサ類、アオミドロ・藻類による表層剥離発生時 ただし、収穫 45 日前まで)	20 個(1 kg)	湛水状態で 投げ入れる		アオミドロ・藻類による表層はく離、ウキクサ類、

殺虫・殺菌剤

農薬名	10a 当り使用量	使用時期	使用回数	対象病害虫
コラトップジャンボP	小包装(パック) 10～13 個(500～650g)	穂いもちに対して 出穂 30～5 日前まで	2 回以内	いもち病
ブラシン粉剤DL	3～4 kg	収穫 7 日前まで	2 回以内	いもち病、変色米(カーブリア菌、エビコッカム菌) 穂枯れ(ごま葉枯病、すじ葉枯病)
スタークル豆つぶ	250g	収穫 7 日前まで	3 回以内	カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイ
トレボン粉剤DL	3～4 kg	収穫 7 日前まで	3 回以内	カメムシ類、ウンカ類、イナゴ類、コブノメイガ、フタオビコヤカ ニカメイチュウ、ツマグロヨコバイ、イネミスゾウムシ成虫